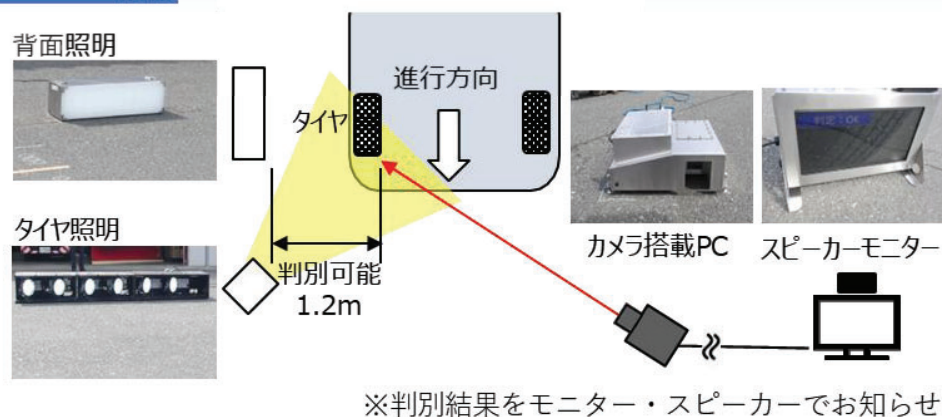


AIによる冬用タイヤ判別で渋滞緩和と負担軽減を実現

高感度カメラで走行車両のタイヤを撮影し、その画像からAIによりスタッドレスタイヤの装着の有無を判別します。天候・時間帯・路面状態に関係なく30km/h以下での走行車両に対応可能で、停車させることなくリアルタイムにスタッドレスタイヤ装着判別結果を音声と画面で通知されるため、従来と比べ確認時間の短縮による渋滞緩和に加え、作業員の負担軽減を実現します。

冬用タイヤ自動判別システム

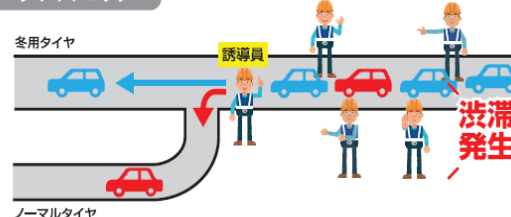
システム構成



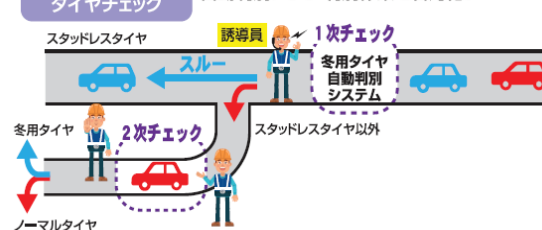
AI画像判定



人力による
タイヤチェック
全車停車させ人力で確認が必要。



本システムを使った
タイヤチェック
自動判別により 判別作業を省力化。



△導入効果

- 冬用タイヤ確認時間の短縮・渋滞の緩和
2分当たり9台→15台
(約1.7倍)
- 作業員の負担軽減、
1箇所：人員6名→4名
(2名減)

(開発業者パンフレットより)

配備計画

令和7年度は冬用タイヤ規制を実施している北近畿豊岡自動車道において、特に冬用タイヤチェック実施中に渋滞が著しかった2箇所で試行的に導入。(青垣IC、和田山JCT・IC)

<参考> 令和6年度 北近畿自動車道における冬用タイヤ規制の実績

- 1月から2月にかけて、9回(延べ19日)実施
- 計118,090台の車両を対象に冬用タイヤチェックを実施。